

お知らせ

記者発表資料

令和2年 1月30日

- 同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ
広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

令和元年度 中国地方整備局入札監視委員会 第一分会 第3回定例会議の審議概要について

中国地方整備局入札監視委員会は令和元年度第一分会第3回定例会議を令和元年12月19日（木）に開催しました。

会議では、令和元年7月1日から令和元年9月30日までの間に契約した「工事」「建設コンサルタント業務等」「役務の提供等及び物品の製造等」の中から抽出した8件の事案について、入札・契約の過程並びに契約内容について審議を行いました。

審議概要については別紙のとおりです。

【問い合わせ先】

中国地方整備局入札監視委員会事務局

082-221-9231（代表）

主任監査官 もりわき かずひろ
森脇 和宏 （内線2114）

総務部 契約管理官 むろた こうじ
室田 浩司 （内線2222）

企画部 技術開発調整官 みちなか みつぎ
道中 貢 （内線3120）

【広報担当窓口】

広報広聴対策官 いわた やすひさ
岩下 恭久 （内線2117）

企画部 環境調整官 さかもと やすまさ
坂本 泰正 （内線3114）

中国地方整備局入札監視委員会（第一部会） 審議概要

開催日時及び場所	令和元年12月19日（木） 14時30分～17時00分 中国地方整備局 建政部 3階会議室	
委員	部会長 近森 秀高（大学院教授） 委員 竹田 宣典（大学院教授） 委員 村上 恵子（大学教授） 委員 爲末 和政（弁護士） 委員 山田 希恵（公認会計士）	
審議対象期間	令和元年7月1日 ～ 令和元年9月30日	
抽出案件	総件数 8件	(備考) 審議対象工事等の案件については、 別紙1のとおり
○工事		
一般競争入札方式 (WTO対象)	1件	
一般競争入札方式 (WTO対象外)	4件	
○建設コンサルタント業務等		
簡易公募型プロポーザル方式	1件	
簡易公募型競争入札方式	1件	
○役務の提供等及び物品の製造等		
一般競争入札方式	1件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答	意見・質問	説明・回答
	別紙2のとおり	別紙2のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

別紙1 抽出事案一覧（期間 令和元年7月1日～令和元年9月30日）

【工事】

○一般競争入札方式:政府調達に関する協定適用対象工事

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
大田静間道路静岡川橋鋼上部工事	鋼橋上部工事	18	18	令和1年7月8日	(株)菊井ハルテック	1,361,470	90.10	中国地方整備局(本局)

○一般競争入札方式:政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
日野川立岩地区外河道整備工事	一般土木工事	1	1	令和1年7月23日	(株)シモキ	285,780	97.81	日野川河川事務所
玉島笠岡道路鳩岡川橋下部外工事	一般土木工事	4	4	令和1年8月20日	中村建設(株)	226,820	94.57	岡山国道事務所
広島西部山系1010隣1渓流発生源対策第2工事	法面処理工事	2	2	令和1年8月20日	日持建設(株)	267,300	94.72	広島西部山系砂防事務所
国道185号椋道橋橋梁補修第3工事	維持修繕工事	7	7	令和1年9月2日	宮川興業(株)	372,680	92.88	広島国道事務所

【建設コンサルタント業務等】

○簡易公募型プロポーザル方式

業務名	業種区分	平級への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加者明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
岡山三川氾濫時対応計画検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	4	4	令和1年9月27日	日本工営(株)	39,985	100.00	岡山河川事務所

○簡易公募型競争入札方式

業務名	業種区分	平級への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加者明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
土師ダム機械設備外修繕設計業務	土木関係建設コンサルタント業務	3	3	令和1年8月8日	(株)建設技術研究所	20,130	79.29	土師ダム管理所

【役務の提供等及び物品の製造等】

○一般競争入札方式

業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
ヘリコプター1式購入	物品の製造又は物品の販売	2	2	令和1年9月2日	三井物産エアロスペース(株)	3,091,000	82.84	中国地方整備局(本局)

別紙2 委員からの意見・質問、それに対する回答

意見・質問	説明・回答
(1) 入札・契約手続きの運用状況等の報告	
<p>1) 入札方式別発注工事 2) 入札方式別発注業務 3) 入札方式別発注役務の提供等及び物品の製造等 4) 指名停止等の運用状況 5) 談合情報等への対応状況 6) 再度入札における一位不動状況 7) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 8) 一者応札の発生状況 9) 不調・不落の発生状況 10) 高落札率の発生状況</p> <p>Q 1. 「談合疑義案件に係る統計的分析（業務）」の建築関係建設コンサルタント業務の平均落札率が79.5%に対して、落札率95%超が97.9%の割合になっているのは何故か。</p> <p>Q 2. 指名停止を受けた価格カルテルについては、自主的に申告したものなのか。もしくは、調査中に申告したものなのか。</p>	<p>A 1. 97.9%は、落札率95%超の割合ではなく落札率95%超の業務5件の平均落札率である。</p> <p>A 2. 自主的に申告したもの、調査中に申告したものの両者あるが、早く申告した者が減免率は高くなる。</p>
(2) 抽出事案審議	
<p>1) 大田静間道路静間川橋鋼上部工事</p> <p>Q 1. 参加可能者数が92者となっているが、国で調査したものなのか。</p> <p>Q 2. 入札説明書の競争参加資格に「橋梁上部工の品質・耐久性向上に関する施工計画が適正であること」と記載してあるが、「適正」とはどういったことなのか。</p> <p>Q 3. 入札調書で3者が「無効」となっている理由は何か。また、3者という数は一般的に多いのか。</p> <p>Q 4. 同種工事の施工実績について、全ての要件を満たすという条件を付けているが、ハードルが高いと思う。要件のどれかを満たせば良いということはあるのか。</p> <p>Q 5. 施工実績は国土交通省以外でもよいのか。</p> <p>Q 6. 入札価格に同じような価格があるが、内訳金額は違うのか。</p>	<p>A 1. 当方のシステムで確認した者数である。</p> <p>A 2. 施工計画の提出にあたり最低限必要な記載があり土木工事共通仕様書等の仕様違反する記載がなければ「適正」としている。</p> <p>A 3. 調査基準価格を下回る入札を行い、施工体制確認のための資料の提出がなかったものである。無効が3者であるのは特異なことではない。</p> <p>A 4. 鋼橋上部工事の場合は、一般的に同様の要件設定をしている。</p> <p>A 5. 良い。</p> <p>A 6. 内訳金額はバラツキがある。</p>

<p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	
<p>2) 日野川立岩地区外河道整備工事</p> <p>Q 1. 地域的に参加可能な建設業者数が少ないため、順番で落札している傾向はないのか。</p> <p>Q 2. 加算点の合計が46点というのは、同様な工事と比べて高いのか。</p> <p>Q 3. 一者入札になったのは、入札期間が短いのが原因ではないか。また、参加要件の緩和を検討した方が良いのではないか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 順番で落札していることはない。当該地域では、発注工事件数が増えていることから、結果的に1者参加となったものと思料される。</p> <p>A 2. 日野川河川事務所管内では、平均的な点数である。</p> <p>A 3. 当該地域の工事件数増加が最大の要因と考えている。本支店営業所の地域要件を拡大するなど、参加要件の緩和を検討している。</p>
<p>3) 玉島笠岡道路鳩岡川橋下部外工事</p> <p>Q 1. 入札方式が「簡易確認型」のため自己採点申請書となっている。これに対して何らかのチェック機能が働いているのか。</p> <p>Q 2. 国土交通省でチェックした結果、間違いはあったのか。</p> <p>Q 3. 競争参加資格として、「下部工コンクリート構造物の品質管理に関する施工計画」を求めているが、どのようにチェックするのか。</p> <p>Q 4. 施工計画について、点数化して評価するのか。</p> <p>Q 5. 競争参加資格のうち、「下請企業表彰を受けた企業は、当該工事の他の競争参加希望者の下請負人として参入を予定していないこと」とはどのような意味か。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 落札候補者を決定後に参加資格確認資料の提出を受けて最終確認を行っている。</p> <p>A 2. 間違いはなかった。</p> <p>A 3. 土木工事共通仕様書等の仕様に違反する記述がないことをチェックしている。</p> <p>A 4. 点数化ではなく適否を確認している。</p> <p>A 5. 下請企業表彰を受けた企業が元請として競争参加した場合、他者の下請として参加することを制限したものである。</p>
<p>4) 広島西部山系1010隣1溪流発生源対策第2工事</p> <p>Q 1. 入札調書で1者が「無効」となっている理由は何か。</p> <p>Q 2. 参加申請が2者だが、施工済の前工事も参加者が少なかったのか。また、前工事は今回と同じ会社が落札したのか。</p>	<p>A 1. 調査基準価格を下回る入札を行い、施工体制確認のための資料の提出がなかったものである。</p> <p>A 2. 前工事も2者応札であった。前工事の落札者は今回工事の落札者とは違う者である。</p>

<p>Q 3. 一つの法面を上段と下段で工事を分ける理由は何か。</p> <p>Q 4. 上段と下段で工事を分けたことで、技術的な問題はないのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 3. 長大法面であり施工の都合により工事を分割した。</p> <p>A 4. 問題はない。</p>
<p>5) 国道185号棧道橋橋梁補修第3工事</p> <p>Q 1. 競争参加資格に暴力団員の排除の記載があるが、実際にこのようなことはあるのか。</p> <p>Q 2. 今回の落札者は第1工事や第2工事の受注者と違う者なのか。</p> <p>Q 3. 入札調書で「無効」となっている理由は何か。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. そのような事例はない。</p> <p>A 2. 今回の落札者は、第1工事や第2工事の受注者とは違う者である。</p> <p>A 3. 調査基準価格を下回る入札を行い、施工体制確認のための資料の提出がなかったものである。</p>
<p>6) 岡山三川氾濫時対応計画検討業務</p> <p>Q 1. 特定結果書で「技術提案書が、無効のため」とはどういったことなのか。</p> <p>Q 2. 技術提案書の提出者を選定するための評価基準内の「業務実施体制」について、①～③に該当する場合には選定しないということになっているが、どれか一つでも該当すると選定しないのか。</p> <p>Q 3. 調査基準価格は決まっているのか。</p> <p>Q 4. 価格が適正かどうかはどのように判断しているのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 技術提案書には、会社名等が特定できるものは記載してはいけないこととなっているが、会社名等が特定できるものを記載してあったため無効とした。</p> <p>A 2. 一つでも該当すると選定しない。</p> <p>A 3. プロポーザル方式であり調査基準価格は決めていない。</p> <p>A 4. 公示時に概算金額を提示し乖離していない事を確認している。</p>
<p>7) 土師ダム機械設備外修繕設計業務</p> <p>Q 1. 入札参加者に要求される資格に、「日本国内に本店、支店又は営業所があること」となっているため海外の会社が参加できるように見えるがどうか。</p>	<p>A 1. 海外の会社は想定していない。地域要件を最大限緩和するという主旨でこの様な記載となった。</p>

<p>Q 2. 参加可能者数が32者と少ないが、全国で同様な業務は多くあると思われるため、32者で仕事を回しているのではないか。参加可能者数を増やす工夫はないのか。</p> <p>また、評価値の算出方法が、技術評価点＋価格評価点となっているが、工事では、技術評価点／価格評価点となっているが理由は何か。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 2. 本業務は同種業務のみを要件としているが、類似業務を要件として設定することも今後検討する。</p> <p>評価値の算出方法は業務と工事で異なっている。業務の総合評価落札方式は、価格点と技術点のウェイトを業務内容に応じて1：1～1：3に設定することとしていることもあり、算出方法を技術評価点＋価格評価点としている。</p>
<p>8) ヘリコプター1式購入</p> <p>Q 1. 各地整でヘリコプターを購入しているが、同じ会社から購入しているのか。</p> <p>Q 2. 公告前意見招請は具体的にどのような内容なのか。どのような効果があるのか。</p> <p>Q 3. ヘリコプターの製造会社はバラバラだと思う。競争性はないかもしれないが、メンテナンスを考えると1者に絞った方が全体コストを下げられるのではないか。</p> <p>Q 4. 落札金額約28億円は、予定価格と比較するとどうなのか。</p> <p>Q 5. ネゴシエーション（交渉）によって価格が下がることはあるのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 各地整で購入会社が違う。</p> <p>A 2. 仕様を決定する上で、供給者側から意見をもらった方が調達する上で有利な場合に行うものである。</p> <p>A 3. 各者ともメンテナンス体制が整っているため問題はない。</p> <p>A 4. 予定価格の約33億円は、入札参加業者から見積を徴収して作成しているが、競争の原理が働き落札価格が下がったと思料される。</p> <p>A 5. そのようなことは行っていない。</p>
<p>(3) 再苦情処理の報告</p>	
<p>該当事案なし</p>	
<p>令和元年度 入札監視委員会</p> <p>第4回定例会議（第一部会）の開催予定</p> <p>令和2年3月17日（火）14時30分～ 中国地方整備局 建政部 3階会議室 抽出委員 山田委員</p>	